

日 時：2008年10月12日（日）11：00～17：30  
場 所：宝塚大劇場

地区米山奨学委員会

委員 萩原 奨  
(大阪難波RC)

秋晴れの10月12日に恒例の米山奨学生レクリエーションが、毎年好評の宝塚大劇場において今年も開催されました。当日は米山奨学生、カウンセラーの皆様、米山奨学生学友会、ロータリアン合わせて87名の参加者で、宝塚歌劇「パラダイス プリンス」の鑑賞を行い、その後全員で懇親会をおこないました。磯田地区委員の司会で進行し米山奨学会常務理事の近藤パストガバナー挨拶、地区笠原委員長の乾杯により懇親会が進められました。途中奨学生とカウンセラーが壇上で順番にスピーチを行い、自己紹介、歌劇の感想をしゃべってもらいました。

「阪急電車で通学をしているので、宝塚歌劇を楽しみにしていた。」

「女性だけのミュージカルは日本だけのもの。カッコよかった。」

「米山奨学生はお金だけでなく、家族の

絆、日本の社会に入った気がする。」

「この様なすばらしい企画をしていただいた地区委員の皆様へ感謝。」といった声がありました。続いて学友会の朴会長から奨学生に当日の歌劇から「夢を実現する為にがんばれ！」とエールが送られ、最後に地区村橋副委員長から閉会のあいさつがありました。

われわれロータリアンは奨学生たちが少しでも将来の役に立てるように応援し、奨学期間が終わっても連絡を取り合うことを約束し全員で記念撮影をして、楽しい一日を終えました。

